

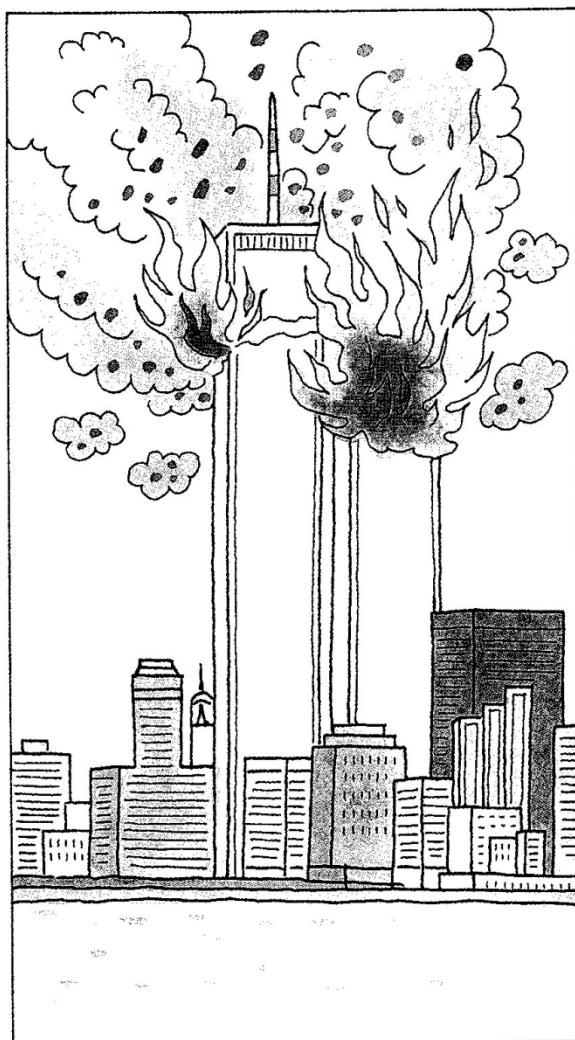
“9/11 “ ツイン・タワー

次郎が旧ワールド・トレード・センター跡地であるグラウンド・ゼロを9月11日に訪れる前に、ミセス・グリーンは彼に2001年のテロ攻撃の数日後の新聞に掲載されていた論説を見せました。

9月11日、2機のジェット機がマンハッタンのダウンタウンにあるウォールドトレードセンターのツイン・タワーに激突しました。最初の激突が8時45分、2番目の激突が9時3分でした。煙と炎が1時間以上にわたって立ちのぼりました。その時、建物の中には多くの人たちがいました。ある人たちは階段を駆け下り、ある人たちは窓から飛び降りました。しばらくの後、両方の高層ビルは地面に崩れ落ちました。鉄の柱とコンクリート、ガラスの下にどれほどの数の人たちが生きているのか、全く知るすべのない状態でした。

私たちは、このできごとを聞きました。何度も何度もテレビの映像でこの悲劇を見ました。恐怖と怒りとを心に抱かない人が、誰かいるでしょうか。

では私たちにできることは何なのでしょうか。第一に、私たちはこのような悲劇の瞬間に勇敢にふるまわなければなりません。そして「どうしてこんなことが起こったのか。この悲劇の裏側にかくされたメッセージは何なのか」を問いかけねばなりません。



私たちはまた、手助けを行うためにできることは、どんなことでも行うべきでしょう。この悲惨な攻撃で母や父、夫や妻、息子、むすめを失い残された家族に、世界中の人々から励ましのメッセージやお金が寄せられました。アメリカ中のすべての州からやってきた人たちが、被害者への献血を行いました。何百ものニューヨークの人たちが助けにやってきました。

これらの人たちは、それぞれ自らの時間を、お金を、そして祈りを捧げたのでした。ある人たちは、自身の命をも捧げました。たくさんの人々を救い、ビルが崩れ落ちた時に中で命を失った消防士たちを、私たちは決して忘れるべきではありません。この悲劇で被害を受けた人たちを覚えていることはもちろんのこと、その家族たちに平和と勇気とを与えるために私たちができることを、何でもすべておこなっていいようではありませんか。